

NEWS LETTER

2021年8月27日

一般財団法人岩手経済研究所

いわて景気ウォッチャー調査 -2021年7月調査- について

一般財団法人岩手経済研究所（理事長：高橋真裕）は、定例の「いわて景気ウォッチャー調査-2021年7月調査-」を実施しました。

本調査の概要は以下のとおりです。

現状判断 45.5

（前回（2021年4月）調査比1.5ポイント上昇）

先行き 52.2

（同9.7ポイント上昇）

本調査の内容は別紙「いわて景気ウォッチャー調査結果 -2021年7月調査-」のとおりです。また、詳しくは8月31日発行の当研究所機関誌「岩手経済研究2021年9月号（No.466）」にも掲載いたします。

2021年8月27日

いわて景気ウォッチャー調査
－2021年7月調査－

盛岡市中ノ橋通一丁目2番16号
岩手銀行中ノ橋支店3階
一般財団法人 岩手経済研究所
理事長 高橋 真裕
(担当 地域経済調査部 高橋 宏輔)
TEL 019-622-1212

< 調 査 要 領 >

1. 調査内容

- (1) 景気の現状に対する判断
- (2) (1) の理由および具体的状況の説明
- (3) 景気の先行きに対する判断
- (4) (3) の理由

※ (1)、(3) は5段階評価による回答とする。

2. 調査時期

2021年7月

3. 調査対象者・方法

県内の景気の動きを観察できる立場の方々113名への郵送、電話による聴取（内容は下表のとおり）。

分野	調査対象者数	調査対象者の代表的な業種
家計動向関連	78名	-
小売関連	30名	百貨店、スーパー、コンビニ、一般小売店、自動車販売など
飲食関連	18名	飲食店、割烹・料理店、スナック、外食チェーンなど
サービス関連	22名	ホテル・旅館、クリーニング店、ガソリンスタンド、タクシーなど
住宅関連	8名	建設設計事務所、不動産販売、住宅販売など
企業動向関連	25名	製造業、広告代理店、運輸業、農林水産業など
雇用関連	10名	人材派遣、学校就業関係者、求人広告など

地域	調査対象者数	市 町 村
県央地域	40名	盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町
県南地域	44名	花巻市、北上市、遠野市、一関市、奥州市、西和賀町、金ケ崎町、平泉町
沿岸地域	19名	宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村
県北地域	10名	久慈市、二戸市、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町

4. 回答状況

有効回答数 101件

回収率 89.4%

5. 指数（D I 値）の算出方法

5段階の判断に、それぞれ下表のとおり点数を与え、これらに各判断の構成比（%）を乗じてD I 値（Diffusion Index）を算出する。D I 値は50を目安としており、50を上回っていれば景気の上昇局面、下回っていれば下降局面と判断する。

回答区分	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	+ 1.00	+ 0.75	+ 0.50	+ 0.25	0.00

< 調査結果の要約 >

景況判断は現状が50を下回ったものの、先行きは13期ぶりに50を上回る

1. 現状判断 ～3期連続で50を下回る～

県内の景気の現状判断指数は、45.5と前回(44.0)に比べ1.5ポイント上昇したものの、景況感の分かれ目とされる50を3期連続で下回った。企業動向関連ではコストアップなどを背景に悪化の動きとなり、雇用関連も前回は下回った。一方、サービス関連や住宅関連で改善がみられ、全体の判断指数は上昇した。ただし、引続き新型コロナウイルスの影響などを要因に県内の景気ウォッチャーは景気の動きに弱さを感じている(図表1)。

回答構成比は「良くなっている」「やや良くなっている」が22.8%(前回23.0%)、「やや悪くなっている」「悪くなっている」は33.7%(同38.0%)と減少した。一方、「変わらない」は43.6%(同39.0%)と増加した(図表2)。

分野別では、家計動向関連指数が45.2(同40.6)、企業動向関連指数が44.8(同51.1)、雇用関連指数は50.0(同52.8)となった。

家計動向関連では、売上げの増加を実感する回答があった一方、企業動向関連では原料などの価格上昇が利益を圧迫していることを示す回答がみられた。雇用関連においては採用企業側の動向の変化を指摘する声があった。

地域別では、県央地域が41.9(前回48.5)、県南地域が44.2(同42.7)、沿岸地域が55.9(同36.1)、県北地域が46.9(同50.0)となった(図表5)。

2. 先行き見通し ～先行き判断は13期ぶりに50を上回る～

2～3カ月先の県内の景気の先行き判断指数は、52.2と前回(42.5)に比べ9.7ポイント上昇し、13期ぶりに50を上回った(図表3)。

回答構成比は「良くなる」「やや良くなる」が27.7%(前回20.0%)、「変わらない」は54.5%(同42.0%)と増加した。一方、「やや悪くなる」「悪くなる」は17.8%(同38.0%)と減少した(図表4)。

分野別では、家計動向関連指数が54.4(同39.9)、企業動向関連指数は44.8(同51.1)、雇用関連指数は55.6(同41.7)となった。

企業動向関連を中心に原料などの価格上昇を危惧する声がある一方、政府などによる消費拡大に向けた取組みを歓迎する声が聞かれたほか、ワクチン接種の浸透による好影響に期待を寄せる声があった。

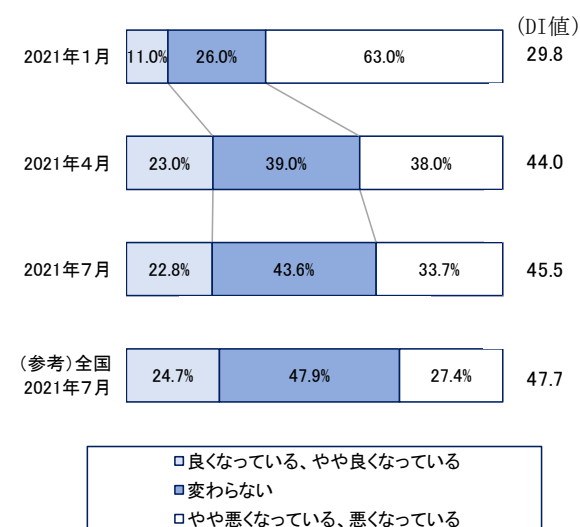
地域別では、県央地域が50.7(前回44.1)、県南地域が55.1(同40.9)、沿岸地域が48.5(同45.8)、県北地域が53.1(同35.7)となった(図表5)。

(ウォッチャーのコメントは後掲の【景気ウォッチャーの主なコメント】を参照ください。)

図表 1 景気の現状判断指数(DI)の内訳

分野	2021年1月	2021年4月	2021年7月	増減
合計	29.8	44.0	45.5	1.5
家計動向関連	25.4	40.6	45.2	4.6
小売関連	33.9	41.1	41.7	0.6
飲食関連	13.5	41.7	45.0	3.3
サービス関連	11.8	34.7	44.4	9.7
住宅関連	46.9	50.0	59.4	9.4
企業動向関連	40.2	51.1	44.8	△6.3
雇用関連	36.1	52.8	50.0	△2.8

図表 2 回答構成比(現状判断)

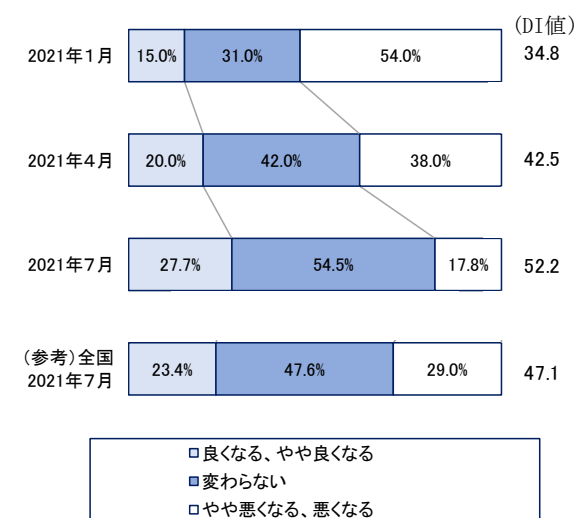


(注)単位未満四捨五入につき合計が100%とならない場合がある

図表 3 景気の先行き判断指数(DI)の内訳

分野	2021年1月	2021年4月	2021年7月	増減
合計	34.8	42.5	52.2	9.7
家計動向関連	32.0	39.9	54.4	14.5
小売関連	34.8	38.4	52.8	14.4
飲食関連	19.2	35.0	58.3	23.3
サービス関連	28.9	41.7	52.8	11.1
住宅関連	50.0	50.0	56.3	6.3
企業動向関連	44.6	51.1	44.8	△6.3
雇用関連	30.6	41.7	55.6	13.9

図表 4 回答構成比(先行き見通し)



(注)単位未満四捨五入につき合計が100%とならない場合がある

図表 5 地域別の景気判断指数

地域	景気の現状判断指数(DI)				景気の先行き判断指数(DI)			
	2021年1月	2021年4月	2021年7月	増減	2021年1月	2021年4月	2021年7月	増減
合計	29.8	44.0	45.5	1.5	34.8	42.5	52.2	9.7
県央地域	26.4	48.5	41.9	△6.6	37.1	44.1	50.7	6.6
県南地域	29.6	42.7	44.2	1.5	32.2	40.9	55.1	14.2
沿岸地域	34.7	36.1	55.9	19.8	31.9	45.8	48.5	2.7
県北地域	33.3	50.0	46.9	△3.1	41.7	35.7	53.1	17.4

【景気ウォッチャーの主なコメント】

	分野	判断	判断の理由	
現 状	家計 動向 関連	やや良	ワクチン接種が進んでいることが一つの要因となって、観光客およびビジネス客ともに宿泊が増えた。(沿岸：旅館業)	
		やや良	高所得層だけではなく、あらゆる所得層の顧客の住宅取得が増加している。(県南：不動産取引業)	
		不変	ワクチン接種は進んでいるものの、感染者は増加傾向にあることから人の流れは抑制されており、変化の兆しが無い。(県央：観光事業)	
		不変	日中の時間帯はワクチン接種時などでの利用がありややプラスとなったが、夜間は会合や宴会の自粛でマイナスとなり総じて変化はない。(県北：タクシー業)	
		やや悪	新型コロナウイルスの感染拡大を受けたイベントの中止や縮小開催による売上げの減少が続いている。(県央：商店街組合)	
		やや悪	お中元の需要はあるものの、同ウイルスの影響で飲食店からの注文が落ち込んだことから総体ではやや悪いと判断した。(県南：酒小売業)	
		悪	同ウイルスの影響から自粛ムードがまん延しており、顧客の購買意欲が全く戻らない。(県北：各種商品販売業)	
		悪	常連客のおかげで営業が継続できているものの、売上げは伸び悩んでいる。自分自身のワクチン接種が終わっていないため不安ななかで営業している。(県央：飲食業)	
	企業 動向 関連	良	受注が大幅に増加し、売上げが伸長した。(県北：建設業)	
		やや悪	売上げは横ばいとなっているものの、飼料や燃料、資材などの価格が上昇しているため、利益が伸びない。(県央：酪農業)	
	雇用 関連	やや良	高校生の求人は昨年よりも増加傾向にあるなど、アフターコロナを見据えた採用を実施する企業が見受けられる。(県央：県就業支援担当)	
		不変	県内の中小企業の採用活動が活発化しているものの、大企業の採用意欲は相対的に低下しており全体では変化がない。(沿岸：学校就業担当)	
	先 行 き	家計 動向 関連	やや良	Go To Eat キャンペーン第2弾により売上げが伸びると見込んでいる。(県南：飲食業)
			やや良	10月までにはほとんどの県民のワクチン接種が終わっていることに期待しつつ、Go To トラベルの再開により売上げが伸びてほしい。(県央：観光事業)
やや良			高齢者のワクチン接種が進むことで外出の機会が増えると予想しており、売上げの増加が期待できる。(沿岸：スーパーマーケット)	
不変			ワクチン接種が幅広い年代に進むことで人・モノ・お金の動きが活発になることを期待する一方、現実的には消費より貯蓄を優先する生活が当面継続すると考えられ、大きな変化はないと思われる。(県央：燃料小売業)	
不変			客数の減少を取り戻すべく工夫を重ねてはいるが、同ウイルスが広がる前の水準まで売上げを戻すにはまだ時間がかかると思う。(沿岸：ガソリンスタンド)	
やや悪			同ウイルスのデルタ株の感染者が県内でも増加するとみられ、消費はさらに落ち込む懸念がある。(県央：米麦卸売業)	
やや悪			子牛や肉牛の価格が下がっているほか飼料の原料となる穀物全般が高騰しており、売上げだけでなく収益も縮小する恐れがある。(県南：肥料飼料卸売業)	
悪			高齢者のワクチン接種が進んだとしても働き盛りの世代の接種が進まなければ厳しい状況となる。(県央：飲食業)	
企業 動向 関連		やや良	新製品の開発をスタートさせている取引先が複数あり受注が増加する見込みである。なお、プラスチックについて原材料の価格が上がっており、需要に対して供給がひっ迫していることには今後注意が必要である。(県央：電子部品製造業)	
		やや悪	資材が10%以上値上がりすることが見込まれており、現状より厳しい状況となる予想である。(県央：家具製造販売業)	
雇用 関連		やや良	ワクチン接種率の向上が秋採用を開始する企業の勢いを後押しすると予想する。(県央：学校就業担当)	
		不変	臨時職員の募集が増えると見込むものの、同ウイルスの感染拡大の影響を考えると楽観はできない。(県央：新聞求人広告)	